

文庫あれこれ◆氷上を華麗に果敢に舞うフィギュア!日本の男子3人素晴らしかったですね。高橋も織田もそして若き小塚も。観客は、その美しいすべりに胸躍らせ、元気をもらいますが、これまでの彼らの苛酷な練習の積重ねは想像を超えるものでしょう。高橋の涙、織田の痛恨の涙…。金メダル・ライサチエク(アメリカ)の歓喜の涙をみるにつけ。◆天袋から物をとりしなに、滑って仰向けのまま床に落ち、椅子の角にぶつけて頭はへこむし瘤はできるし、臀部はしたたか打ちつけて、1週間経っても、痛みがとれません。情けない。そこで、荷物は宅急便で送り、指定席を奢って、やってきました。席は山側でしたが、心なしか緑が明るくなったような。車窓から紅白の梅の花を見て香りまでかいだつもりになったり、大きなゆずの黄橙色に温もりを感じたりして。電車は熟年の女性グループや、ご夫婦でいっぱいでした。河津桜を見に行くのでしょうか(文庫のはまだ3分咲きでしたが)。◆伊豆高原の駅では、八幡野小の高学年でしょうか、社会科の「実地研究?」をしていました。ほっと心がほぐれます。◆プリンターがまたまた不具合になりそうです。機械の使い方を丹念に理解しないで使っているせいだと思いますが、月に2日ほど集中的に使うのがいけないのかしらん?◆次から次へと『パレード』『サヨナライツカ』等々、小説の原作が映画化されますね。子どもの本の場合も同じことが言えます。確かに映像を見てからだと多少難しい本でもイメージが出来ているから楽しめます。本を読まないより読んだほうがよい、という考えからすると、映画をみて本が読みたくなるのもあながち悪いことではないのですが、私としては、できるなら、理解できる年齢になって本を読んで、想像力を駆使して自分の力で、物語の楽しさを知ってほしい、と思ってしまうのです。『床下の小人たち』というシリーズがあります。かのジブリで映画化。ちょっとありそうでない世界の不思議な人々の生活を垣間見る、想像する。子どもの力で開拓してほしいなあ、と。何で映画関係者は既存の物語にたよるのよ、本の世界はそっとしておいて!と言いたくなります。◆目に頼るより、耳から聴いて全身で物語を受けとめる。おかあさん、1年2年生にはまだまだ読んであげてくださいね!字が読める嬉しさとは別物です。(西村)

“ “これからの催し物のお知らせ” ”

- 5月: アートフェスティバル期間
ロングオープン 8~16日(10:00~15:00)
おはなし会・楽しい展示「手作り絵本など」
- 7月: 18日(日)午前10:30~12:00
文庫開設記念子どものためのおはなし会
午後4:30~7:00
10周年記念・海の日のおはなし会
- 8月: 夏休みロングオープン(14~22日)
- 10月: 秋の夜長のおはなし会(16日)
- 12月: クリスマスお楽しみ会・おはなし会(19日)

☆☆今後の開館スケジュール☆☆

- ◆3月は通常。20日(土)、21日(日)
- ◆4月は通常。17日(土)、18日(日)
- ◆5月は8日(土)~16日(日)
- ◆6月は通常。19日(土)、20日(土)
- ◆7月は通常。17日(土)、18日(日)
- ◆文庫の時間: 土曜日は午後2時~5時、
日曜日は午前10時~午後3時
- ◆毎月開館日の日曜には、「子どものための小さなおはなし会」があります。
午前10:30~11:00
- ◆文庫開館日は毎月、第3日曜とその前日の土曜日の2日です(従って第3土曜日ではなく第2土曜日ということもあります)。
- 《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》
みんなで勉強会(おはなしの会・沙羅)
- ★3月20日(土)11時~です。5月・若葉のころのおはなし会に向けて練習をはじめます。

連絡先: 沙羅の樹文庫 電話 0557-51-3737

沙羅の樹文庫便り

No.42

(2010年2月号)



365花撰

「2月のおはなし会」は、咲くのは、5月頃だそう。

「沙羅の樹文庫」を詠む 高橋良子

世代こえ 本とつながり 人憩う
文庫のすがた 沙羅の樹みつめ

読みきかせ ページ操るほどときめいて
絵本の世界 子らを誘う

立春を過ぎて、寒くてすっきりしない日ばかり続いていますね。昨日は雪も降りました。大室山の山焼きはまた延期されたようですね。1週間遅れのおかげで、見られるかなと、期待していたのですが…。暖かな春、待ち遠しいですね。

『ふたごのルビーとガーネット』(ジャクリー

・ ・・ ・・ 竹由美子訳 偕成社 2001)



を読んで

八幡野小4年 田中咲穂

私がこの本を選んだわけは、この本の作者が好きだからです。

ルビーは活発でガーネットはおとなしいという正反対な性格だけど、ふたごという所が面白いと思います。

私には、弟が一人いてよく姉弟でけんかをします。ルビーとガーネットのように仲良しじゃないけど、読んでいるときには、本の中にひきこまれてわくわくしていました。ルビーとガーネットはすごく顔がいていてみわけがつかえません。声をそろえて歌を歌ったりしているところを読んだときは、すごいと思いました。私もそれぐらい気の合った姉弟になったら、みんなおどろくと思います。

最後にルビーはかみの毛を短くして女優になるゆめを持ち、ガーネットは一人で寄宿学校へ通います。じょうきょうはちがってもいつまでも仲良しという所がよかったです。私は、ふたごじゃないけど、弟とはけんかをしても仲良くしたいと思います。

✿咲穂ちゃんは驚くほどたくさん本を読むそうです。

♥子ども会員さんへ 募集♥

文庫の本で、面白かった本、恐かった本、みんなにすすめたい本のしょうかい文を書いてください!!

最近お借りした本についての読後感 <続き>

10.1.15 By 森林浴

②内田 樹「日本辺境論」(新潮新書 09)もずい分

と注目された本です。この人の名は「たつる」と読むんですね。よくある日本文化論のちょっと風変わりなもの、と言ってしまうと味も素っ気もないことになってしまいますが、この人の主張の論拠には、梅棹忠夫岸田秀などの優れた思想があって、本人も私はこれらの名論に補助線を



引いただけと謙遜しています。この人のいう「辺境」は「中華の対(ついで)概念」ということから始まります。日本人は「世界標準に準拠してふるまうことはできるが、世界標準を新に設定することはできない」おかしな人種だと言う。しかし結論はこの「辺境性」は直るものでないし利点もあるので、「私はこうなったらとことん辺境で行こうではないか」というご提案をしたいのです。」と。つまり「辺境」で居直っちゃいましょうというのです。それにしても第4章「辺境人は日本語と共に」というところはすっかり同感できましたが、第3章「機」の思想、というところは私には不勉強でよく分からなかった。合気道の道場まで持っているというこの人ならではの面白い主張らしいけれど、とにかくこの人は今から活躍しそうな人ですね。(以上)

★1月に掲載できなかった本の紹介です。

新刊・新入庫 紹介 おとなの本 続き

『寺田寅彦 バイオリンを弾く物理学者』(末延芳晴 平凡社 09) 『インパラの朝』(中村安希 集英社 09) 『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』(加藤陽子 朝日出版社 09) 『たった1分で人生が変わる片づけの習慣』(小松易 中経出版 09)

新刊・新入庫 紹介

おとなの本

『デンデラ』(佐藤友哉 新潮社 09) 『転生回遊女』(小池昌代 小学館 09) 『クオントム・ファミリーズ』(東浩紀 新潮社 09) 『抱擁』(辻原登 新潮社 09) 『地球の上でビザもなく』(青山真治 角川書店 09) 『ほかならぬ人へ』(白石一文 祥伝社 09)

『マーシイ』(トニ・モリスン 早川書房 09) 『パリ左岸のピアノ工房』(T.E.カーハート 新潮社 10(14刷))

『彼女のいる背景紙』(堀江敏幸 マガジンハウス 09) 『読み解き「般若心経」』(伊藤比呂美 朝日新聞出版 10) 『一茶の連句』(高橋順子 岩波書店 09) 『ハッピー・リタイアメント』(浅田次郎 幻冬舎 09)

『パレード』(吉田修一 幻冬舎文庫 19版) 『サヨナライツカ』(辻仁成 幻冬舎文庫 42版) 『少年』(ビートたけし 新潮文庫 27刷) 『空ばかり見ていた』(吉田篤弘 文春文庫 09)

子どもの本の紹介

(絵本) 『かくかくしかく』『あめぼぼぼ』*2冊とも親子で楽しむ幼児絵本。おすすめです。『さくら』*さくらの一年に通して植物に自然に愛しさを覚える文と絵。『おじいちゃんとテオのすてきな庭』*こんな世界を楽しめる子になってほしい! 『ふしぎなしろねずみ』『ウェン王子ととら』*韓国と中国の昔話。滑稽味と幸福感を。そして、厳しさと慈悲の心で胸が熱くなる。ちょっと大きい子向け。

『やめて!』*ノー!という事は大切なんだよ。絵だけで物語る。あるのはたったひとつ『やめて!』ちょっと難しいかな? でも、大切な、必要な「ノー!」を言える子になってほしいですね。

(読み物) 『チュウチュウ通り1番地 ご隠居とチーズどろぼう』『チュウチュウ通り2番地 クツカタッポと三つのねがいごと』*字が読めるようになった年長さん~1年生の新しい楽しい新シリーズ、始まりました! 『グラタンおばあさんとまほうのアヒル』*安房直子・いせひでこで、やさしいふしぎな読み物できました。低学年女の子向きかな。『ダレン・シャン11、12』*リクエスト。完結篇。『ロビンソン・クルーソー』*リクエスト 『ぼくだけの山の家』*都会の狭いアパートと大家族から逃れて暮らした山の生活。高学年、中学生、大人に読んでほしい1冊。『兵士ピースフル』*『縞模様のパジャマの少年』とまたちがった衝撃を受けます。高校生、大人にぜひ一読を。『ミムスー宮廷道化師』*リクエスト。子どもの本関係者がこぞってお薦めの本。『よのなかマップ』*リクエスト。 ✿2009年お薦めの本ばかりです。